

(2) 広島空港60分カバー圏

成果
目標

現況
把握

課題と
要因分析

施策の
選定

平成16年度
の取り組み

● アウトカム指標の位置づけ

現在、広島空港への平均所要時間は約70分となっています。県民アンケート調査^{注1)}における「望ましい所要時間」の平均的水準は40～50分ですが、各都市圏からの現況所要時間及び実現の可能性を考慮して、広島空港60分^{注2)}カバー圏を、アクセス改善のための指標として採用しました。

注1) 「広島県総合交通計画」策定のためのアンケート調査、(平成9年、広島県)

注2) 現在供用中道路の所要時間は混雑時旅行速度をもとに算定しており、本指標は混雑時の到達目標を示す。

● 現況値と目標値

広島空港60分カバー圏



● 現況把握

広島県における広島空港60分カバー圏は、人口で48%、面積で35%です。県内居住者の過半数は、1時間以上かけて広島空港を訪れています。

● 課題と要因分析

広島空港は、広島市、呉市、福山市から直線距離で約50kmの県中央部に位置し、これらの主要都市から山陽自動車道までの高速アクセスが確保されていないため、所要時間が長くなっています。

図2-4 広島空港60分カバー圏(現況)



《凡例》

高規格幹線道路
地域高規格道路
一般国道

【算定条件】

指標算定に用いている市町村は H15.1 時点のもの、所要時間は広島空港～市町村役場で算定しています。

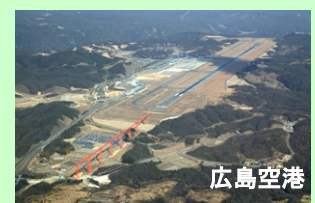


図2-1 広島空港の鳥瞰写真

広島空港は、新しい全国総合開発計画において、広域国際交流圏の形成を進めるための拠点として位置づけられています。

また、平成13年1月に3,000m滑走路が供用し、現在は、5路線の国際定期便が就航しており、中四国地方の国際化の進展と地域振興が期待されます。

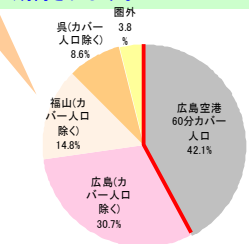
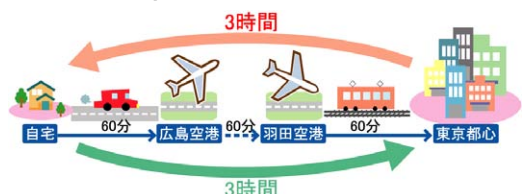


図2-2 空港カバー圏二次生活圏別人口比

図2-3 広島空港～東京までのアクセスイメージ



出張先が東京で、仕事を2時間とした場合、1日8時間労働の中で往復するためには、自宅から広島空港までアクセスするのに要することが可能な時間は、60分以内ということになります。

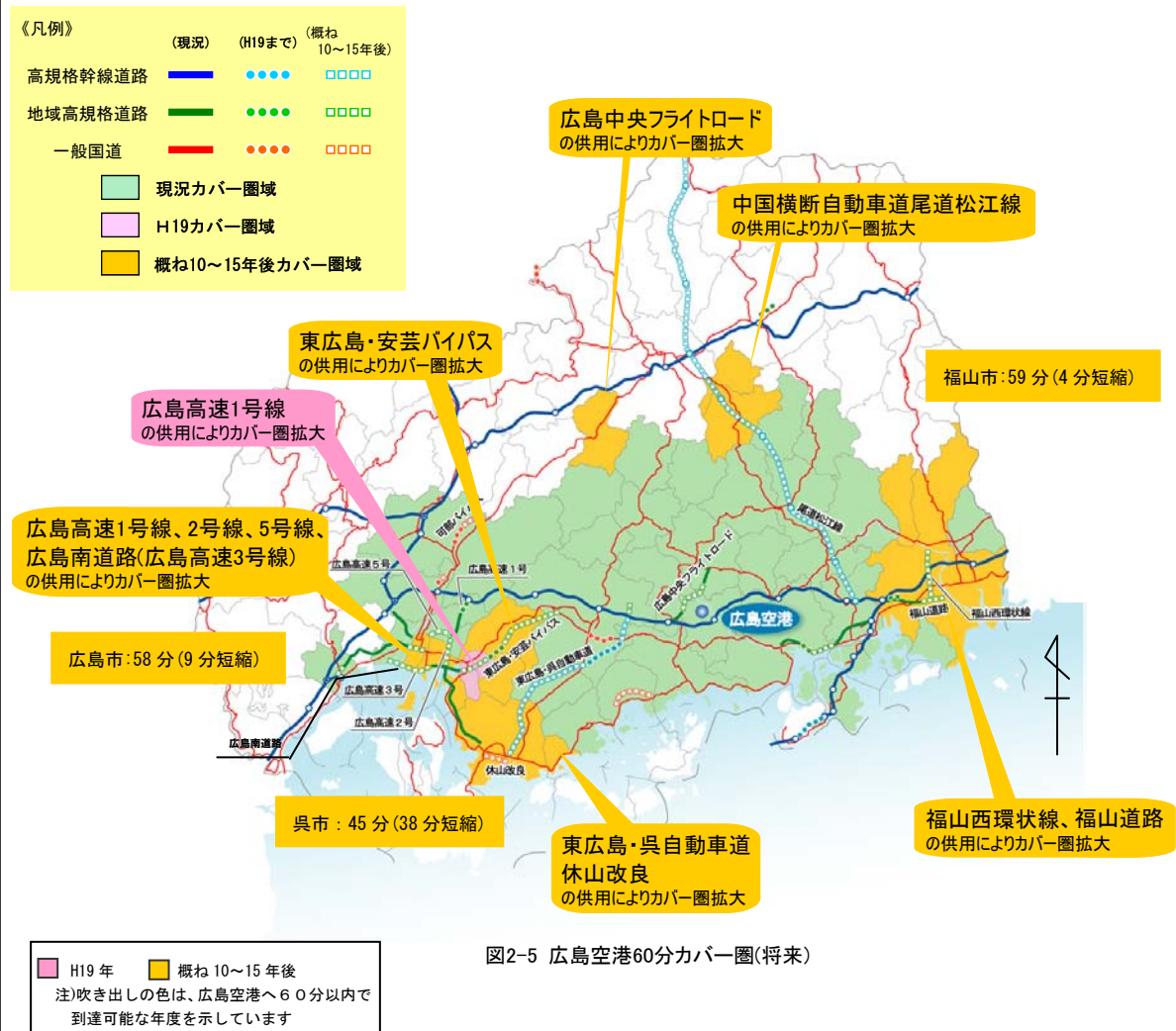
(2) 広島空港60分カバー圏

成果目標 → 現況把握 → 課題と要因分析 → 施策の選定 → 平成16年度の取り組み

● 施策の選定

二次生活圏人口の多い広島、福山、呉都市圏からのアクセス改善を図るため、図 2-5 に示すような道路の早期整備を推進し、広島空港へのアクセスルートを確認します。

広島空港への高速アクセスルートを確認する



注3)高規格幹線道路については整備方針を踏まえ、今後スケジュールを見直すことがあります。

概ね10～15年後: 人口 78%
面積 46%

● 平成16年度の取り組み

平成16年度も広島南道路、広島高速道路、東広島・安芸バイパス、東広島・呉自動車道、福山道路及び松永道路の整備を進め、広島空港からの60分カバー圏の拡大を推進します。